

決算特別委員会委員長報告（要旨）

決算特別委員会 委員長 唐崎 輝喜（平成22年10月臨時会）

本委員会に付託されました議案第55号平成21年度竹原市歳入歳出決算認定について、並びに議案第56号平成21年度竹原市水道事業決算認定について、審査の経過及び結果について報告いたします。

平成22年9月15日に6名で構成される本委員会に付託を受けて以来、5回の委員会を開催し、審査をいたしました。

審査にあたりましては、予算の執行が関係法令の規定に準拠し、適正かつ公正に執行され、期待された行政効果が達成されているか、収入は適正に確保されているか、また財産が適正かつ公正に維持管理されているか等について、決算書並びに決算附属資料はもとより、関係帳票、また必要に応じ、資料の提出と説明を求め、慎重に審査を行いました。

はじめに、議案第56号平成21年度竹原市歳入歳出決算認定については、次のとおり指摘と要望、意見を付し、賛成多数で認定すべきものと決定いたしました。

- 1 公平負担と財源確保のため、滞納金の整理を推進されたい。
- 2 遊休地の有効活用を図られたい。
- 3 基金の有効利用について、有害鳥獣対策等ソフト面での有効活用を図り、安全安心なまちづくりを推進されたい。

以上が、平成21年度竹原市歳入歳出決算認定についての報告であります。

続きまして、議案第56号平成21年度竹原市水道事業決算認定については、次の意見を付して、賛成多数で認定すべきものと決定いたしました。

歳入につきまして、先ほどの指摘・要望事項と同様、より一層の滞納金整理の推進を要望いたします。

事業につきましては、水道施設整備基本計画に基づいて、引き続き配水管布設替工事を実施され、安価で安全、良質でおいしい水の安定供給に努められることを要望いたします。